

令和5年度 修善寺東こども園教育活動への評価（園関係者評価）

園目標 「ともだち いっぱい げんきな子」

重点目標 「やってみよう」「かんがえよう」「つたえあおう」

十分達成A おおむね達成B
やや不十分C 不十分D

保護者の園保育活動点検アンケート及び職員の自己評価実施後、園評価委員4名の方に、園運営全般、子どもの活動の様子、保育者の指導方法や目標の達成度等について貴重なご意見をいただきました。合わせて、今後に向けての助言等もいただきましたので、来年度の教育保育課程編成に活かしていきたいと思っております。評価は右表のとおりです。

今年度は、野菜の収穫や地域への散歩、民生委員さんが鬼に扮しての豆まきなど、地域の方と触れ合う機会が増えました。たくさんの経験が子どもの心を動かし、仕草や声で伝えようとするにつなぐと改めて実感できた一年でした。

今後も、地域とのつながりを大切に、修善寺東こども園の子どもたちの育ちを支えていきたいと思っています。よろしく願いいたします。

「園評価関係者の皆様からいただいた意見等」

- 園目標は、保護者アンケートの子どもの表れからとても合っていると感じた。
- 園児が散歩で小学校に来た時、児童が上手に関わっていた。優しさ、譲るなど児童にとっても嬉しいよい刺激となった。今後も散歩等で小学校に来てほしい。
- 保護者に行事後、アンケートをとり、ご意見にはコメントをしていることはよいことだと思う。便りは、園の様子が分かりやすく保護者にとっては嬉しいと思う。
- 子どもの成長に合わせて、きめ細やかに対応している。また、アレルギー対策や午睡チェック、ヒヤリハットなど園での様子を視察し、確認することができた。
- 子どもや保護者に接する姿勢や対応がよく、安心して過ごすことができる園生活だった。
- 子どもにどう接するとよいのかなどのモデルとなる園を目指してほしい。

「来年度に向けて（今後の改善方策）」

- ・今後も、子どもの興味や関心と活動の流れを把握し、「やってみたい」と心が動き遊びが広がるような環境の工夫をしていきます。その中で、「もっとこうしたい」「もう1回」の子どもの思いを受け止め、環境の再構成をしながら遊びが深まるようにしていきます。
- ・園と小学校との交流を深め、互いの理解につなげていきます。そのために、子どもも職員も交流する場を積極的につくっていきます。

領域	評価項目		評価
重点目標	1	好きな遊びを見つけ、繰り返し取り組めるようにしているか。	A
	2	試したり考えたりしながら、友達と一緒に遊びを楽しめるようにしているか。	A
	3	自分なりの方法で思いを伝え、人の話を聞けるようにしているか。	A
こども園における教育・保育	4	個々の発達や経験差を十分把握、理解し、適切な援助が繰り返し行われているか。	A
	5	個々の生活リズムの違いをふまえ、安心して穏やかな気持ちで過ごせるようにしているか。	A
	6	友達や保育教諭等と一緒に活動する中で遊びが広がるような環境を構成しているか。	A
安全管理・指導	7	緊急時の対応を身に付けさせるような経験をさせているか。	A
保健管理・指導	8	日常の健康観察や疾病予防、アレルギー対策のための取り組みが行われているか。	A
特別支援	9	個の状況に応じた支援方法を職員間で共有し、家庭と連携をとりながら、保育・教育にあたっているか。	A
組織運営	10	全職員が組織の一員として経営に参画することを意識し、改善に向けて取り組んでいるか。	A
研修体制	11	伊豆市の目標や園の研修テーマに向けて共通理解をもち、成果と課題を明らかにしながら取り組んでいるか。	A
教育環境の整備	12	定期的に安全点検をし、施設の不備を改善しているか。	A
家庭との連携・協力	13	子どもの成長や生活の様子を具体的に分かりやすく伝え、家庭と連携がとれているか。	A
学校との連携・協力	14	こども園と小学校の継続的な交流をし、相互理解を深めているか。	B
地域との連携・協力	15	地域機関や自然を活かした保育実践が行われているか。	B

<ご意見・苦情について>

職員間での情報の共有にご意見をいただきました。今後も皆様からのご意見を大切に受け止め、よりよい園づくりをしていきます。

